

# 2015年度 緑区自立支援連絡協議会 活動報告

## 1 緑区自立支援協議会 2015年度の活動の柱

(1) 地域課題「意見」の具体化と推進・・・緑区地域課題は別紙参照

課題に応じて集まり主体的に取り組んでいく 課題交流・勉強会・具体化に取り組む。部会での取り組み推進と、部会の枠を超えた横のつながりも含め地域の課題テーマごとの推進を試行する。

- ① 障害分野の地域の課題は、誰もが住みやすい街づくりを区民みんなで考えるなかで取り組んでいくことの大切さがあらためて協議会で議論がされすすめられた。障害があってもなくても、誰もが住みやすい緑区地域にしていくために、区民に参加していただき、「つどい」(「障害の重い人の地域生活」をテーマ)を開催した。また、作業所の授産製品の販売促進の企画実施や、区政運営方針に協議会の取り組みを載せていく企画もすすめられた。広く区民に障害の分野の取り組みや協議会を知ってもらう機会となっている。地域の取り組みに障害当事者、協議会関係者が積極的に参加することも一歩一歩進められている。
- ② 相談体制について 緑区は名古屋市の中で人口が多く、人口増加率も高い。人口24万人、障害者手帳の増加(特に精神障害は大きく増加している)、支給決定者数の増加、緑区の障害支援区分認定調査(知的・身体障害)約110件を他区(瑞穂・昭和)に実施してもらう状況があった。南部療育センターそよ風の初回相談の数か月待ち状態があることの課題が出された。緑区の人口(増加)に見合った相談体制を計画的に整備していくことの必要性が話し合われた。引き続き協議会の意見としてその実態を市に報告していく。
- ③ 障害児の不登校の地域課題について、子ども応援委員会のソーシャルワーカーさんと、児童部会、相談部会で意見交換を行い新たなつながりができた。また、南ブロック(緑・南・天白・瑞穂)で、各区の子ども応援委員会と意見交換を行い、福祉と教育の連携のために、まずお互いを知り合うことの必要性が出された。緑区特別支援教育研究会の会議において、児童部会の代表と基幹センター相談員で、障害児福祉サービスの手続きの仕方、放課後等デイサービスの制度学習と、学校と放課後等デイの連携について取り組み報告を行った。先生から、今後も学習交流や連携をしていきたいとご意見をいただいた。
- ④ 移動支援・行動援護・居宅介護の事業の人材不足が地域の大きな課題となっている。特に朝と夕方のヘルパーが見つかりにくい実態が報告された。要因の一つに報酬単価(が低い)の課題がある。行動援護や身体介護において固有の専門性を確保していくことも課題。居宅部会から課題整理の議論と意見文書が出された。
- ⑤ 運営委員会において地域の課題の実態や実践交流の議論の中で、支援関係者の「学びたい」との意見が多数あった。また、グループホームの不足、地域生活、暮らしの場の地域課題整理や実践交流の必要性が出された。地域の支援力アップ(人材育成)のための事例検討会や学習会(意思決定支援、権利利擁護、生活保護や経済的問題、専門機関との連携、就労支援、新しい制度学習等々)を、協議会、各部会でそれぞれが行ってきている。部会を越えて相互参加をしていきたいとの積極的な意見が出された。

## (2) 協議会組織再編初年度の試行 他区の協議会・部会・取組等見学参考に

緑区協議会再編初年度として、(新)事務局会議、運営委員会、(新)全体会、部会、(新)地域ケア会議(仮称)等を試行的に取り組む。運営を工夫するため他区の見学を見学に行き学ぶ。

- ・障害の分野を区政運営に位置づけていくため、平成28年度緑区区政運営方針に「緑区自立支援連絡協議会」の取り組みの文言をあらたに載せることとなった。
- ・地域の中核機関である区役所、支所、保健所、社協、基幹センターで構成する事務局会議で、障害分野の視点から地域課題を集約していく位置を一步づつつくってきている。協議会全体の課題集約・整理・運営委員会の準備等を進め、活動を計画的に進めることができた。運営委員会では、各団体、部会からの報告や地域の実情、課題が出され、それぞれの分野で地域で現在起こっていることや課題について共有と意見交換を進めることができた。
- ・他区の協議会の取り組みに見学に行ったり、参考にすることに取り組んだ(全体会やつどい等)。
- ・地域の課題は幅広く、活動内容も幅広くなり、重点を絞り切れず議題過多になっている側面があった。どれも大事な課題であるが、重点課題や年間計画、役割分担、進め方等を見直し、皆さんで見通しを持って課題を進めていけるようにしていくことが必要となっている。特に事務局会議で整理・精査をすすめていくことが必要。

## (3) 複数事例の集約 地域ケア会議の試行(年1回)・・・別紙参考資料イメージ図

行政機関(区役所、支所、保健所、)・社協・基幹センター・部会代表者で構成支援困難・複雑事例を中心に複数事例から地域の課題を共有する作業を試行する。

- ・各部会で、事例検討を実施し、よりよい支援づくりと支援者の力量アップに取り組んできている(相談部会や南・緑の事例検討会、児童部会、精神部会等)。障害児の不登校の地域課題については子ども応援委員会と相談部会、児童部会、基幹センター南ブロック会議において、事例交流や実践交流から地域課題の議論を行われた。
- ・運営委員会での各部会での活動報告や、課題交流の中で、改めて移動支援・行動援護等、障害児の不登校の課題、グループホームの課題、相談体制の課題、等々出された。協議会のネットワークのなかで関係者の課題共有が一步づつ進んでいる。各部会で次の取り組みの内容づくりにつながっている。
- ・今年度計画した「地域ケア会議」としては実施ができなかった。今後、年間のまとめとして(案)、上記の取り組みの「複数事例の課題」や「事例検討の内容」を、各部会、運営委員会、事務局会議で簡単に取りまとめてもらい、運営委員会に集約することを検討。

## (4) 第5回緑区民の安心と安全を考えるつどいの開催

緑区民の参加、つながりづくり。緑区関係者の協働して手作りで実施。障害当事者、家族の思いねがいをもとに考える。地域への啓発、知ってもらう活動。

テーマ案「障害の重い人の地域生活、医療的ケアの課題」の領域

- ・180名(関係者を含む。)の参加があった。第一部では、「障害者・家族からのメッセージ」として、3人の方が体験を踏まえて発言した。第二部では、「ドキュメンタリー映画『普通に生きる』」を上映した。  
参加者の内訳は一般市民、家族等がそれぞれ約4分の1、支援者が約2分の1で障害者自身の参加も数名あった。  
障害の重い当事者の発言は、参加者、特に一般市民の参加者から感動的に受け止められた。参加者アンケートでもほぼ全員が企画・内容について「良かった」と回答し、マスコミにも取り上げられ、市民啓発においても成功裏に終わった。

(5) 地域全体の力量アップのための研修会・交流会の実施、事例検討会の方法の模索。各部会の取り組みや、部会の枠を超えた横のつながりもつくる。

- ・全体研修会を実施 日時：2015年12月10日(木)13:00~16:10  
場所：徳重支所第1・2・3会議室 参加者45名 緑区の障害福祉の支援関係者  
講演 北野誠一先生「ケアからエンパワーメントへ - 本人と支援者の相互エンパワーメントの展開」 先生の話を受けて8つのグループで討議し実践交流を実施した。
- ・精神部会の企画運営「こころの病を抱える人が自分らしく暮らすために」～居心地のいい人と場所を求めて～日時：平成27年2月7日(土)13:00~17:00場所：徳重会館 ユメリア講堂「地域で当事者がどう生きていくか」演者 鳴海ひまわりクリニック池田淑夫院長 第2部：居心地のいい場所・人の発見(シンポジウム)コーディネーター：特定非営利活動法人グリーンハート理事長 樋渡敏氏・当事者Yさん 「就労移行支援事業を利用して」参加者90名程度、参加対象：緑区民・当事者・家族・緑区精神保健福祉医療関連機関の支援者・隣接市区町村の精神科医療機関、障害者基幹相談支援センター(参加費無料)
- ・各部会で学習会や地域課題の交流集約等を実施した。特徴的な取り組みの内容として、日中活動部会では事業所見学、事業所字実践報告他を実施した。居宅部会では、障害のある方の食事形態の試食も含む学習会、移動支援・行動援護の地域課題をまとめる作業他を実施した。児童部会では、放課後等デイのガイドライン学習、障害児の不登校の地域課題交流、事例検討他を実施した。相談部会では、生活保護、権利擁護、難病の学習会、事例検討会他を実施した。精神部会では、事業所見学紹介、実践報告、事例検討、学習会(薬を使わないアプローチ、自立支援協議会とは)他を実施した。(詳細は各事業報告参照)

(6) 防災の地域づくり・地域の防災の取り組みに当事者、家族、支援者参加

- ・緑区の防災訓練に参加。社会福祉協議会の災害時支援の「障害理解」にかかわるボランティア育成の取り組み
- ・度当初の運営員会で、総務課担当課から今年度の防災訓練等の日程について案内をいただいた。協議会としては、日程の紹介とともに、各事業所での参加を呼び掛け、可能な範囲で参加が進められた。

(7) 情報ネットワークづくり 協議会ホームページ、情報共有、社会資源情報

- ・日中活動事業所、放課後等デイサービス・児童発達支援のガイドブック作成。居宅支援事業のガイドブック作成に取り掛かる。
- ・今年度5月ホームページを開設した。①自立支援協議会についての説明 ②2015年度活動報告と2016年度活動計画 ③日中活動系事業所と放課後デイサービス等の事業者情報を掲載している。お知らせコーナーでは、みどり福祉の店フェアの開催や第5回緑区民の安心と安全を考えるつどい、そして精神部会講演会等の行事の案内。緑区自立支援協議会「全体会」開催のお知らせ、居宅部会定例会の報告等をおこない情報発信してきている。
- ・ホームページから情報を得る事が出来るようになり、さらに来年度は居宅事業所紹介も予定されている。来年度は、さらに必要な情報を適時発信できる様にしていく必要がある。

## 2 組織

### (1) 事務局会議(再編)

区役所、支所、保健所、社会福祉協議会、基幹センター

### (2) 運営委員会(役割再編)

緑区身障協会、みどり家族会、緑区育成会、各部会代表、事務局会議メンバー、

### (3) 全体会(役割再編)

医師会、緑区特別支援教育研究会、民生委員障害部会代表、各障害者相談員、緑区役所民生子ども課、運営委員会メンバー

### (4) 部会

#### ①日中活動部会

日中活動事業所(生活介護、生活訓練、就労継続、就労移行、地活、日中一時、ショートステイ、住まい(グループホーム・入所施設)(合計約30か所)基幹センター

#### ②居宅部会・・・居宅支援事業所(約50数事業所)、基幹センター

#### ③児童部会・・・児童発達支援、放課後等デイサービス、南部療育センターそよ風、基幹センター(約20数事業所・機関)

#### ④相談部会・・・指定相談事業所8か所、区役所、支所、保健所、児童発達センター、基幹センター

#### ⑤精神部会・・・精神分野の事業所、医療機関、相談事業所、保健所、基幹センター、(隣の市・区も含む)(約40数団体)

その他：障害の重い人の支援を考える会(緑区・南区の事業所・機関)

### (5) 複数の支援困難事例の集約

各部会で実施された事例検討や地域課題を運営委員会で報告をしてもらい集約。年度当初企画していた地域ケア会議は実施せず。

### 3 年間活動日誌

	協議会・全体	各部会（詳細は各部会活動報告参照）
4月	事務局会議	(1)日中部会：定例会2回実施（事業所見学・実践報告他）、運営委員会2回他実施、授産製品販売会他 (2)居宅部会：定例会1回実施（学習「障害のある方の食の形態」、移動支援・行動援護の地域課題他）、運営委員会5回実施、事業所紹介パンフづくり他 (3)児童部会：定例会7回実施（課題交流、事例検討、放課後等デイのガイドライン学習他）、子ども応援委員会との課題交流、事務局会議2回開催 (4)相談部会：定例会12回（毎月）実施（地域課題（グループホーム、相談体制、移動支援他）の交流、学習会（生活保護、難病、権利擁護）、子ども応援委員会との課題交流、事例検討）、南緑合同の事例検討会（Aグループ）毎月実施 (5)精神部会：定例会3回実施（事業所見学、紹介、活動報告交流、学習他）、勉強会4回実施（事例検討、自立支援協議会とは他）、精神部会企画講演会+シンポジウム（シンポ当事者、就労支援員）実施、事務局会議・実行委員会他随時 (6)その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・他区の協議会の見学（講演会、全体会他）</li> <li>・障害の重い人の支援を考える会 隔月実施</li> <li>・基幹センターのホームページ開設し、協議会や地域の取り組みを掲載、緑区の日中活動事業所、放課後等デイ等の紹介パンフをアップした。</li> </ul>
5月	運営委員会	
6月	臨時拡大事務局会議 全体会	
7月	事務局会議	
8月	運営委員会	
9月	事務局会議 研修会	
10月	運営委員会 精神部会主催講演会+シンポ	
11月	事務局会議	
12月	運営委員会 全体研修会（講演会+GW）	
1月	事務局会議 緑区民の安心と安全を考えるつどい	
2月	運営委員会	
3月	事務局会議	

## 4 部会の活動

### (1) 日中部会

月	日	曜	時間	会議名	内容	参加者・人数
4	15	水	16:30~ 18:00	運営委員会 (ぶなの家)	今年度の部会の活動案について 区役所における自主製品販売に 関するアンケート結果まとめ	ぶなの家：中井、 希望の家：佐藤、 基幹：倉林、塚本 計4名
5	19	火	13:00~ 15:30	第1回定例会 (緑区役所)	① A型ハウス見学会 ② 2013年度活動報告、 2014年度活動計画	16名
9	11	金	16:30~ 18:00	運営委員会 (ぶなの家)	次回定例会の内容について	ぶなの家：中井、 希望の家：佐藤、 基幹：倉林、塚本 計4名
10	2	金	16:30~ 18:15	第2回定例会 (ユメリア徳 重集会室)	実践報告会 ・ココロ 「緑区での事業開始 から今までの活動について」 ・なるみ作業所 「つながる力 を育む～自閉症の強度行動障害 の方へのウォーキングの取り組 み」  イオン大高での緑区授産製品販 売フェアについて	13名
12	4	金	16:30~ 17:00	みどり福祉の 店フェア打ち 合わせ会議	当日の流れの確認	ウル サポート being 緑 親
1	15	金	11:00 ~ 13:00	イオン大高 みどり福祉の 店フェア		たんぼぼ作業所ミ ドリ のんたんと ぶなの家 ゆたか希望の家 ワークセンターメ イプル 計7事業所

### (2) 居宅部会

#### ア 運営委員会

- 1回目 9月15日 定例会内容検討 相談部会からの事業所情報依頼検討
- 2回目 10月16日 定例会準備 パンフづくり検討
- 3回目 11月24日 定例会準備 パンフづくり検討

4回目 1月26日 定例会まとめ パンプづくり 来年度の活動について

5回目 3月8日予定 パンプづくり 来年度の活動について

イ 定例会 12月7日(金)

参加者 9事業所10名+基幹C 3名 合計13名

(ア) 学習会「障害のある方の食事の形態について」

医療給食さんを講師に招き、講義および試食(超特軟菜食・きざみ食・なめらかゼリー食・とろみ食など)講義もわかりやすく、特に試食が好評。1食からも取り寄せられる食品もあり、ケア先の利用者さんに紹介したいとの声や、事業所の学習会として行いたいとの声あり

(イ) 緑区10の地域課題の1つである「移動支援&行動援護」の不足について意見交流。当日出された意見は別紙参照。来年度も移動の問題については深めていきたいと意見あり。居宅部会だけでなく、緑区全体の地域課題として、協議会全体で議論できる場ができないか?

(ウ) 居宅事業所パンフレット作りについて

出来た物は、基幹CのHPに掲載および冊子にする予定。現在54事業所(2月15日現在)ある内の約半数程度の事業所より、パンフづくりの賛同を得、準備中

(エ) その他 介護保険分野との交流も含め、緑区介護フェアに協議会として参加したらどうか?との意見あり。協議会の運営委員会での検討希望

### (3) 児童部会

日時	内容	参加(敬称略)
4月13日 (月)	事務局会 代表事業所としての役割分担	のん・たんと かるむ ゆう
4月21日 (火)	児童部会 新年度児童部会の体制の整備について報告、運営委員会報告 平成27年度の活動について検討	のん・たんと かるむ ゆう 健生 みどりそよ風 ジーニアス グッピー ー 楽子 ぼぼクラブ ぼぼランド さにいー びいーとる 支援センター ー
4月27日 (月)	事務局会 児童部会日程・予算・会議案内について検討	のん・たんと かるむ ゆう
5月22日 (金)	児童部会 運営委員会報告・日程・情報交換 事業所情報を集約し、災害時の協力依頼カードと事業所一覧ファイルを作成	のん・たんと かるむ ゆう 健生 みどりそよ風 さにいー ひなゆり ジーニアス ぼぼクラブ ぼぼランド 支援センター
9月11日 (金)	児童部会 運営委員会報告 災害時の協力依頼カードの配布先確認と今後の取り扱いについて ケース検討にむけた情報交換	かるむ ゆう 健生 みどりそよ風 グッピー ぼ ぼクラブ ぼぼランド 支援センター
10月16日 (金)	児童部会 運営委員会報告 放課後等デイサービスガイドラインについての話し合い ケース検討(かるむさんより事例提供)	かるむ ゆう 健生 みどりそよ風 グッピー ぼぼクラブ ぼぼランド 支援センター

12月18日(金)	<p>児童部会</p> <p>子ども応援委員会さんより不登校についての現状説明</p> <p>基幹相談支援センター高橋さんより名古屋市の課題について説明</p> <p>運営委員会報告</p> <p>来年度の児童部会代表について</p>	<p>かるむ ゆう</p> <p>健生 みどりそよ風 グッピー</p> <p>ぼぼクラブ ぼぼランド</p> <p>支援センター</p>
1月23日(土)	つどいのお手伝い	かるむ ゆう 健生
2月19日(金)	<p>児童部会</p> <p>運営委員会報告</p> <p>来年度予算及び今年度予算残額についての話し合い</p> <p>来年度の児童部会代表の選出方法を決定</p> <p>放課後等デイサービスガイドラインについて意見交換</p> <p>新規開設事業所の自己紹介</p>	<p>かるむ ゆう のん・たんと</p> <p>みどりそよ風 グッピー</p> <p>びいーとる びいーとるⅡ</p> <p>さにいー 楽子</p> <p>支援センター</p>
3月11日(金)	<p>児童部会</p> <p>来年度の児童部会の組織としてのあり方について話し合い、自立支援連絡協議会の協力を得て運営することを決定</p> <p>新代表はNPO法人たすけあい名古屋と株式会社たんぽぽに決定</p> <p>来年度事業計画について、やってみたいことを意見交換</p>	<p>かるむ ゆう のん・たんと</p> <p>みどりそよ風</p> <p>ぼぼクラブ ぼぼランド</p> <p>びいーとる</p> <p>さにいー 楽子</p> <p>支援センター</p>

#### (4) 相談部会

##### ア 相談部会定例会

日時	内容	場所
4/28(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、連絡事項</li> <li>・2014年度振り返り</li> <li>・2015年度活動報告</li> </ul>	<p>徳重支所</p> <p>16名参加</p>
5/20(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織再編と定例会の持ち方</li> <li>・地域ケア介護の試行について</li> <li>・つどいのテーマについて</li> </ul>	<p>徳重支所</p> <p>名参加</p>
6/15(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会学習会のテーマの検討</li> <li>・研修会の実施</li> <li>・10項目の課題の整理(グループホームについて)</li> </ul>	<p>緑保健所</p> <p>9名参加</p>
7/13(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会学習会について</li> <li>・10項目の課題の整理(相談支援体制について)</li> </ul>	<p>徳重支所</p> <p>16名参加</p>
8/17(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護部会学習会</li> <li>・情報交換、連絡事項</li> </ul>	<p>緑区役所</p> <p>14名参加</p>
9/14(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、連絡事項</li> </ul>	<p>緑保健所</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア（3号研修）</li> <li>・10項目の課題の整理（相談支援体制、移動支援について）</li> </ul>	9名参加
10/19 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換、連絡事項</li> <li>・10項目の課題の整理（相談支援体制、移動支援について）</li> </ul>	徳重支所 名参加
11/16 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病部会学習会</li> <li>・情報交換・連絡事項</li> </ul>	緑保健所 15名参加
12/14 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども応援委員会の挨拶と説明会</li> <li>・つどいの要員と役割分担</li> <li>・A型事業所について</li> </ul>	緑保健所 15名参加
1/18(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換・連絡事項</li> <li>・2016年度部会の持ち方、部会アンケート</li> </ul>	緑区役所 11名参加
2/15(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護部会学習会</li> <li>・2016年度部会運営について</li> </ul>	徳重支所 14名参加
3/14(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護部会学習会</li> <li>・2016年度部会運営について</li> <li>・成功事例の報告と交流</li> </ul>	緑保健所

## イ 部会学習会

- (ア) 第1回 8/17 「生活保護の概要と現状について」  
緑区区民福祉部民生子ども課保護係 永山 浩二主事
- (イ) 第2回 11/16 「難病について」  
緑保健所保健予防課 中園 氏
- (ウ) 第3回 2/15 「権利擁護事業のあらまし」  
障害者・高齢者権利擁護センター東部事務所 副所長 脇田 全人

## ウ 南・緑合同Aグループ事例検討会のまとめ

### (ア) この事例検討会でめざしているもの

- ・参加者一人ひとりが相談支援専門員として、具体的な事例を通して、日々の実践の中での思いや明らかにしたいことを語り合い、参加者全体で共有して、一緒に方向性を探っていきます。
- ・参加者は、特にひとり職場の相談員の不安や悩み、憤りなどの思いに寄り添って、安心・信頼できる人間関係を築きつつ、双方がお互いの実践力を向上させるために、検討を深めます。
- ・支持的スーパービジョン、事例検討ホワイトボードエコマップ等の理論や手法を学び取り入れながら進めています。事例検討のしかたを工夫し、個別事例支援の質の向上と、相談員同士の育ちあいの場としてのピア・グループスーパービジョンに取り組みます。(参考文献「気づきの事例検討会」「援助者の援助 支持的スーパービジョンの理論と実際」「ケア会議の技術」)

### (イ) 2015年度の振り返り

#### ①全体の状況

今年度は、基本的に事前に報告者を決めるのではなく、当日、各々の参加者が近況報告をする中で、リアルタイムで直面している事例を出し合って意見交流をしつつ、必要に応じてピックアップをし、情報提供や意見交換を交えて内容を深め、全体で解決または改善の方向性を見出していくというスタイルで、1年間（3月を含め12回予定）開催してきました。

また、この間新たに開設した相談事業所が増えてきたこと、ひとり職場で奮闘している相談員が多いため、新たに、事業所を募ってきました。

知的・身体、精神、児童の各分野からの参加に加え、区役所、基幹支援Cからの参加も得て、幅広い

領域からの事例や情報に接することができることも、この検討会の大切な財産となっています。

②開催日時、場所

原則として毎月第3金曜日 15:00~17:00 \*会場は、緑区役所徳重支所第3会議室

③参加者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ	平均
10	8	10	9	9	5	6	6	6	9	10	8	96	8

(5) 精神部会

ア 活動表

4.14	第11回精神部会事務局会議 (H27年度第1回)
6.9	第12回精神部会事務局会議
6.27	第1回精神部会定例会
7.6	精神部会講演会 第1回実行委員会
7.28	精神部会講演会 第2回実行委員会
8.3	第13回精神部会事務局会議
8.4	精神部会講演会 第3回実行委員会
8.18	精神部会講演会 第4回実行委員会
9.8	精神部会講演会 第5回実行委員会
9.14	第14回精神部会事務局会議
10.3	第2回精神部会定例会
11.9	第15回精神部会事務局会議
1.18	第16回精神部会事務局会議
2.13	第3回精神部会定例会
3.8	第17回精神部会事務局会議

イ 事務局会議内容

(ア) 第11回内容

- ①事故紹介
- ②今年度の予定、各担当、予算について検討
- ③定例会の日程確認、新しく始める勉強会の日程検討
- ④各事業所の近況報告
  - ・4/1から「地域活動支援センターしかやま」が立ち上がったと共に、3/23に支援センターが引っ越した。
  - ・他市・区からの利用者、申し込みが増加
  - ・事業所毎で支援者がついていない方への対応で困る。支援員とのやり取り方法で悩み。

(イ) 第12回内容

- ①部会活動予算について
- ②自立支援連絡協議会の報告
- ③事業所近況報告
  - ・リワーク・デイケアの併用について、それぞれ別の医療機関のリワーク・デイケアを利用することは可能なのか？

(ウ) 第 13 回内容

- ①第 1 回勉強会報告
- ②講演会実行員会報告
- ③近況報告

(エ) 第 14 回内容

- ①講演会実行員会報告
- ②自立支援連絡協議会の報告
- ③第 2 回勉強会の報告
- ④部会の内容について：第 1 目的（顔の見える関係づくり）は達成してきたため、第 2 目的（区・各事業所の課題を掘り下げていく）に移行。
- ⑤近況報告
  - ・専門的な知識が必要なケースが増えてきた（引きこもり・高次脳など）

(オ) 第 15 回内容

- ①自立支援連絡協議会報告
- ②緑区 10 個の課題について検討
- ③3 回定例会の報告

(カ) 第 16 回内容

- ①自立支援連絡協議会報告
- ②第 3 回定例会について
- ③H27 年度活動報告
- ④H28 年度活動予定について

(案)

- ・GH について共通認識の場を設ける（課題について話し合う）
  - ・GH についての講演会
  - ・事例検討
    - 権利擁護、地域移行、定着支援・障がい者の高齢化などについて、事例を踏まえて検討
    - 講師を読んで、講義スタイルで行うか？→予算を立てる必要がある
  - ・他の部会とのコラボ企画
  - ・現場にいるスタッフの気持ちの共有、疲弊しないための取組について
- ⑤予算について検討

ウ 定例会内容

(ア) 第 1 回定例会内容

- ・6/27 (土) 14:00~16:00
- ・地域活動支援センターしかやま紹介、有松みんなの家、ウィングル報告
- ・パンフレットを使って各施設の代表者が説明&各施設支援者自己紹介
- ・自立支援協議会の説明、報告
- ・精神部会の活動計画、報告

(イ) 第 2 回定例会内容

- ・10/3 (土) 14:00~16:30 徳重支所 体育館
- ・鳴海ひまわりクリニック 池田淑夫先生「心の病を抱える人が自分らしく暮らすために」  
(昨年度を踏まえて今年度どう変化したか)
- ・当事者のシンポジウム (ウィングル当事者) NPO 法人グリーンハート 樋渡敏氏にコーディネーターを依頼

(ウ) 第3回定例会内容

- ・2/13(土) 14:00~16:00 南生協病院
- ・メンタルクリニックみなみ 院長 古水医師「薬を使わないアプローチあれこれ」
- ・精神部会 H27年度活動報告
- ・南生協病院 よってって横丁見学

エ 講演会実行委員会内容

(ア) 第1回

①テーマ決め

- ・昨年度と同じテーマにしつつ、「学習・体験談・交流」を入れて、より内容を深める

②内容

- ・一般の人に向けて、身近なところで精神に接している人が興味があるのでは？  
未だ繋がっていない人で、どこに相談したらよいか分からない人が知りたい事にしては？

↓

- ・Dr講演「医療と福祉の連携」  
情報提供(緑区サービス紹介など)  
当事者体験談

(イ) 第2回

①内容

- ・統合失調症の事例を踏まえて、緑区で生活している人の振り返りになるようにしたい。  
(挫折体験があって、最終的な自分を見つけたという広がりを持った話)
- ・Drの対談はどうか?→CLと有床HPの違いについて

②緑区近隣資源マップ作りについて

- ・事例に対して、事業所がどう連携しているか不明。
- ・相談の流れをフローチャートにしてポスターにしてはどうか?  
その上で、相談できる場所のマップを作成し、地域に知ってもらう。

(ウ) 第3回

①内容

- ・精神科Drに統合失調症の方が自分らしく暮らしている事例を3例紹介して頂く
- ・シンポジウムのコーディネーターを依頼。当事者の立場から現在に至るまでを話して頂く

②挿絵の検討

- ・当事者から募集することになる

(エ) 第4回

①内容

- ・講演内容について、ケースの検討  
「働いていたが発症し、断薬を繰り返し、入院しているケース」  
「陰性症状(無為自閉)の強い方で、自分の能力を活かし就労継続支援B型事業所などで働いているケース」  
「陽性症状(幻聴)あるが、目立ちにくく、就労しているケース」

②今後について

- ・今年度の講演会を踏まえて検討することになる

(オ) 第5回

①予算について

- ・3万5千円(最大4万5千円)で通過

## ②内容

- ・講演会は鳴海ひまわりクリニック池田 Dr に決定
- ・シンポジウムはウィングル当事者、支援者をお願いすることになる

## ③当日の流れ（タイムスケジュール）確認

## オ 精神部会勉強会内容

### （ア）第1回

- ・日時・場所：H27.7.10 はたらく工房 18:00～19:00
- ・テーマ：「関係性が崩れた利用者とのかかわり方」（ケース検討）
- ・検討事項：1人の担当が関わり続けるのは困難な可能性がある  
地元で近隣のところを探した方がよいのでは？  
役割分担をして、1事業所が抱えないようにする必要がある

### （イ）第2回

- ・日時・場所：H27.9.11 南生協病院 デイケアみなみ風 18:00～19:00
- ・テーマ：「家庭の問題・身体的な病気を抱えている精神障害者を地域でどうサポートしていくか」（ケース検討）
- ・検討事項：様々な機関が本人の支援にあたっているが、本人にとって自分を出せる場所として在る「デイケア」との「繋がり」、他の機関との「繋がり」を今後も継続していくことで、本人の生活をサポートしていく。  
今後、地域住民が高齢化していくことで、身体的な合併を抱えた精神障害者が増えることが考えられるが、どのように窓口の案内とサポートをしていくか（どこが拾ってどう繋げていくか）が課題

### （ウ）第3回

- ・日時・場所：H27.11.20 ウィングル名古屋野並センター 18:30～20:00
- ・テーマ：「来所が安定しない方へのアプローチ」（ケース検討）
- ・検討事項：本人に役割を持ってもらってはどうか  
家族の協力を仰いではどうか（本人への声掛けなど）

### （エ）第4回

- ・日時・場所：H28.1.29 はたらく工房 18:00～19:00
- ・テーマ『わかりやすい！？「自立支援協議会」学習会』
- ・講師：緑区基幹相談支援センター 高橋さん
- ・感想：「（自立支援連絡協議会について）聞いたことはあったが、どんなことを取り組んでいるのか不明だった点が明確になった」  
「どんなことでも、まず動いて取り組んでいくことを繰り返すことで、形になっていくと実感した」  
「横のつながりを大切にしていきたい」

## 5 その他

### （1）障がいの重い人の支援を考える会

障がいの重い人達への支援にかかわる、名古屋市の南部(南区・緑区)の種別を超えた事業所が月1回集まり、ご本人が望む支援の在り方を考えようと、テーマを決めて話し合いを重ね30回を超えた。前年度に引き続き、医療的ケアをテーマに話し合いをすすめ、大同病院での小児在宅医療研究会への参加も、地域での医療・看護・福祉の連携を進めるコツになっている。また、毎回各自が参加した研修報告により医療的ケアの内容を深める事になってきている。5月には、緑区内で3号研修を受けて医療的ケアを実施して

いる日本福祉の水野さんからの報告、10月には登録研修事業所として3号研修を開催しているサポート知多からの講師を招いた研修会を行ってきた。

毎月の会議内容（毎月第2週午後 会場は緑区役所第1会議室で開催）

日付	内容
4/14	第19回考える会 テーマ「近況・3/19 学校での医療的ケアの話」3月ひいらぎ特別支援学校南俊樹先生から「学校での医療的ケア的ケア」の報告をうけて交流。医療的ケアのアンケートの集計について。
5/12	第20回考える会 テーマ ヘルパーステーション日本福祉の水野さんから 事業所を立ち上げられた経緯、実際に始められてから感じている課題などについて報告を受け交流。
6/9	第21回考える会 テーマ「大府あおぞら有床クリニックの開設・テイクルなごや内覧会の参加交流・ケース検討入院時コミュニケーションの支援」先月の日本福祉の報告を交流した
7/14	第22回考える会 テーマ 6/21 京都医療的ケアネット報告・医療的ケア課題点の進め方」
8/18	第23回考える会 テーマ「7/15 大同クリニックでの水野先生看護師の話・7/26 岐阜小児在宅医療研修会の報告・第26回ネットワーク名古屋の報告」神谷さんが先月出してくれたプリントを元に、他の地域での研修や事業の話しも交流。第26回「医療・福祉・保健・教育のネットワーク名古屋」での厚生労働省平成27年度予算案「重症心身障害児者支援体制整備モデル事業」の目的・役割や支援内容について報告を受けて交流
9/8	第24回考える会 テーマ「サポート知多への依頼準備」知る事に合わせて、考える会としてどういう方向性でいくのか等
10/13	第25回考える会 テーマ「研修会サポート知多登録研修機関 竹内様森田様」竹内氏から医療的ケアが出来るまでの背景、研修の流れ、何故3号研修なのか、研修機関になるにはどうしたら良いのか、実施状況をお聞きした。看護師の森田氏からは、介護と医療の連携、訪問介護ステーションの役割、この連携が責任問題を解決していく手立てになる。研修会を経て考える会では、3号研修の周知の問題、フォローアップ研修も含めたバックアップ体制の問題、研修開催を進めていく事を確認しました。
11/10	第26回考える会 テーマ「研修会の振り返り」3号研修について 三重の小児在宅研究会
12/8	第27回考える会 テーマ「大同勉強会での報告準備 障がいの重い人の医療的ケアの現状と課題・12/18 障害のある方達への入院時支援を考える研修会」
1/12	第28回考える会 テーマ「大同勉強会準備・報告 12/18 入院時支援検視友会、12/20 小児在宅医療建機友会、1/9 訪問看護研修会、社会観将来構想」
2/9	第29回考える会 テーマ「医療的ケアについて」
3/15	第30回考える会 テーマ「大同勉強会での発言を終え今後の動き・仲間を増やす」重心デイの現状からやはり重心の方の人数把握が難しい。札幌のパーソナルアシスタンスについて